平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月７日

上 場 会 社 名　　鬼怒川ゴム工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　５１９６　　URL　http://www.kinugawa-rubber.co.jp/
代　表　者　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 関 山 定 男
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　　(氏名) 嶋 津 智 昭　　(TEL)043(259)3114
四半期報告書提出予定日　　平成25年11月７日　　配当支払開始予定日　　平成25年12月２日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	36,492	5.8	3,675	△6.4	4,041	2.5	2,284	2.6
25年３月期第２四半期	34,498	2.3	3,927	0.1	3,943	0.7	2,226	△10.2

(注)　包括利益　26年３月期第２四半期　3,902百万円(62.4%)　25年３月期第２四半期　2,403百万円(△6.8%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第２四半期	33　98	33　94
25年３月期第２四半期	33　12	33　12

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	57,715	29,888	50.2
25年３月期	49,073	26,332	52.0

(参考)　自己資本　26年３月期第２四半期 28,966百万円　25年３月期 25,520百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	4　00	―	4　00	8　00
26年３月期	―	4　00			
26年３月期(予想)			―	4　00	8　00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	72,500	9.5	7,700	20.6	8,100	15.0	4,500	13.2	66　94

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	67,299,522株	25年３月期	67,299,522株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	71,501株	25年３月期	66,252株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	67,231,005株	25年３月期２Ｑ	67,235,071株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

平成25年11月22日(金)・・・機関投資家向け決算説明会

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（セグメント情報等） ……10
※ 平成26年３月期第２四半期決算概要（参考資料）

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策が徐々に浸透し、円安や株高などを背景に景気は緩やかな回復を続けました。

当社のグループの主要得意先の自動車生産は、前年同期比で国内は約１割弱の減少、海外は米州が約１割弱増加したものの海外全体では微増となり、グローバルでは前年同期並みとなりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、３６４億９千２百万円（前年同期比5.8%増）となりました。部門別の売上高は、車体シール部品はアジア及び米州での生産量の増加により１９８億３千万円（前年同期比19.0%増）、防振部品は生産量の減少により６３億３千６百万円（前年同期比10.4%減）、ホース部品は生産量の減少により４３億４百万円（前年同期比4.7%減）、ブレーキ・型物部品は生産量の増加により２５億８百万円（前年同期比3.4%増）、その他製品は受注の減少により３０億４千９百万円（前年同期比4.7%減）、その他事業は受注の減少により４億６千３百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

損益につきましては、調達資材の現地化・汎用化及びアジア・米州でのモノ造り改善活動を継続してきましたが、国内の操業度低下影響、新車立上げに伴う費用などにより、営業利益は３６億７千５百万円（前年同期比6.4%減）、経常利益は為替差益などにより４０億４千１百万円（前年同期比2.5%増）、四半期純利益は２２億８千４百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は、次のとおりであります。

[日本]

売上高は、主要得意先の自動車生産台数の減少により、２２４億７千３百万円（前年同期比9.1%減）となりました。営業利益は、操業度の低下による影響を合理化で補えず、２２億８千７百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

[米州]

売上高は、メキシコ拠点の本格操業及び主要得意先の自動車生産台数の増加により、４７億３千３百万円（前年同期比72.0%増）となりました。営業利益は、拠点の自主自立による改善活動の推進により、前期から大幅に改善効果が出ているものの、新車立上げに伴う費用を吸収するまでには至らず、１億９千８百万円の損失（前年同期は５千７百万円の損失）となりました。

[アジア]

売上高は、中国及びタイでの操業度回復により、９２億８千４百万円（前年同期比32.0%増）となりました。営業利益は、タイ拠点での新車立上げに伴う費用増をモノ造り改善活動等による合理化活動で補い、１５億２千１百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が２０億９千１百万円、受取手形及び売掛金が２６億１千６百万円増加したことなどにより、６０億９千５百万円増加の３０３億５千３百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて有形固定資産が１４億７千８百万円、投資有価証券が１３億６千９百万円増加したことなどにより、２５億４千７百万円増加の２７３億６千２百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて８６億４千２百万円増加の５７７億１千５百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて支払手形及び買掛金が２３億８千１百万円、未払法人税等が３億７千１百万円増加したことなどにより、３６億２千６百万円増加の２０１億７千９百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が１５億４百万円増加したことなどにより、１４億６千万円増加の７６億４千７百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて５０億８千６百万円増加の２７８億２千６百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が２０億１千５百万円、為替換算調整勘定が１４億４百万円増加したことなどにより、３５億５千６百万円増加の２９８億８千８百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は５０億５千万円と、期首に比べて２０億９千１百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が３９億１千３百万円、減価償却費１０億５百万円、売上債権の増加１６億１千６百万円、法人税等の支払額１２億２千３百万円などにより、３３億２千５百万円の増加（前年同期は１５億４千９百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得１４億９千３百万円、投資有価証券の取得１０億１千９百万円などにより、２２億９千５百万円の減少（前年同期は１０億８百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加１１億８千２百万円、配当金の支払額３億５千８百万円などにより、８億５百万円の増加（前年同期は２億１千６百万円の減少）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期通期連結業績予想につきましては、平成25年８月８日に公表いたしました予想数値を修正しております。

修正理由は、為替レートが円安に推移していること及び前期に発生した米州での新車立上げに伴う費用を改善活動の推進により改善効果が見込まれることから、修正を行うことといたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	70,500	7,500	7,600	4,200	62.47
今回発表予想（Ｂ）	72,500	7,700	8,100	4,500	66.94
増減額（Ｂ－Ａ）	2,000	200	500	300	－
増減率（%）	2.8	2.7	6.6	7.1	－
前期実績（平成25年３月期）	66,221	6,383	7,046	3,975	59.13

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,959,755	5,050,779
受取手形及び売掛金	14,045,997	16,662,434
商品及び製品	1,308,891	1,379,736
仕掛品	1,283,647	1,257,702
原材料及び貯蔵品	2,217,299	2,748,711
その他	2,490,380	3,295,832
貸倒引当金	△47,743	△41,818
流動資産合計	24,258,229	30,353,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,641,261	5,126,412
機械装置及び運搬具（純額）	4,485,524	5,402,134
工具、器具及び備品（純額）	527,647	633,453
土地	10,425,928	10,497,433
建設仮勘定	1,080,505	980,145
有形固定資産合計	21,160,868	22,639,580
無形固定資産		
のれん	218,542	191,057
その他	265,412	293,921
無形固定資産合計	483,954	484,979
投資その他の資産		
投資有価証券	2,021,878	3,391,436
その他	1,179,025	877,718
貸倒引当金	△30,822	△31,446
投資その他の資産合計	3,170,082	4,237,708
固定資産合計	24,814,905	27,362,268
資産合計	49,073,134	57,715,646

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,321,444	8,702,477
短期借入金	4,801,668	5,037,495
1年内返済予定の長期借入金	1,287,764	1,088,250
未払費用	943,924	1,039,438
未払法人税等	1,012,099	1,383,800
賞与引当金	828,261	818,323
その他	1,357,873	2,109,392
流動負債合計	16,553,035	20,179,177
固定負債		
長期借入金	822,350	2,326,677
退職給付引当金	2,668,399	2,645,422
役員退職慰労引当金	35,056	36,697
その他	2,661,528	2,638,792
固定負債合計	6,187,334	7,647,588
負債合計	22,740,369	27,826,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654,585	5,654,585
資本剰余金	849,597	849,597
利益剰余金	17,112,984	19,128,624
自己株式	△27,703	△30,588
株主資本合計	23,589,463	25,602,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,342	75,376
土地再評価差額金	2,471,580	2,471,580
為替換算調整勘定	△587,900	816,918
その他の包括利益累計額合計	1,931,021	3,363,875
新株予約権	27,120	42,450
少数株主持分	785,159	880,336
純資産合計	26,332,764	29,888,880
負債純資産合計	49,073,134	57,715,646

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
売上高	34,498,908	36,492,143
売上原価	27,315,237	29,532,266
売上総利益	7,183,671	6,959,877
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	712,001	846,454
従業員給料及び賞与	871,143	800,843
法定福利及び厚生費	199,733	199,266
退職給付費用	60,049	59,632
賞与引当金繰入額	119,298	105,658
役員退職慰労引当金繰入額	6,771	5,843
減価償却費	74,979	77,983
賃借料	89,219	84,582
消耗品費	93,673	72,049
のれん償却額	42,508	27,484
その他	986,728	1,004,294
販売費及び一般管理費合計	3,256,106	3,284,094
営業利益	3,927,565	3,675,783
営業外収益		
受取利息	19,290	24,183
受取配当金	4,253	3,218
持分法による投資利益	45,687	78,532
固定資産賃貸料	25,665	34,121
為替差益	－	211,798
助成金収入	2,890	5,387
その他	113,521	99,874
営業外収益合計	211,308	457,116
営業外費用		
支払利息	47,840	52,338
為替差損	96,698	－
その他	51,199	39,421
営業外費用合計	195,739	91,759
経常利益	3,943,133	4,041,139
特別利益		
固定資産売却益	14,673	815
特別利益合計	14,673	815
特別損失		
固定資産除却損	1,027	9,852
割増退職金	47,695	6,881
事業構造改善費用	－	111,389
その他	5,961	－
特別損失合計	54,684	128,123
税金等調整前四半期純利益	3,903,122	3,913,831
法人税等	1,626,155	1,571,446
少数株主損益調整前四半期純利益	2,276,967	2,342,384
少数株主利益	49,995	57,810
四半期純利益	2,226,971	2,284,573

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,276,967	2,342,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,974	28,034
為替換算調整勘定	125,335	1,335,878
持分法適用会社に対する持分相当額	13,363	196,232
その他の包括利益合計	126,724	1,560,144
四半期包括利益	2,403,691	3,902,529
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,334,518	3,717,426
少数株主に係る四半期包括利益	69,172	185,102

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,903,122	3,913,831
減価償却費	818,962	1,005,417
のれん償却額	42,508	27,484
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,926	△7,178
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△13,766	△25,578
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△139,849	1,641
受取利息及び受取配当金	△23,543	△27,401
支払利息	47,840	52,338
有形固定資産売却損益（△は益）	△14,612	△815
有形固定資産除却損	1,027	9,852
持分法による投資損益（△は益）	△45,687	△78,532
売上債権の増減額（△は増加）	△38,182	△1,616,425
たな卸資産の増減額（△は増加）	△94,157	△233,719
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,330,008	1,681,593
未払消費税等の増減額（△は減少）	△136,285	29,087
その他	468,882	△158,376
小計	3,449,176	4,573,218
利息及び配当金の受取額	143,151	27,401
利息の支払額	△47,788	△52,252
法人税等の支払額	△1,994,698	△1,223,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,549,841	3,325,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△985,778	△1,493,979
有形固定資産の売却による収入	42,057	2,622
投資有価証券の取得による支出	△1,682	△1,019,748
その他	△62,893	215,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,008,297	△2,295,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,268,324	△69,629
長期借入れによる収入	－	2,145,868
長期借入金の返済による支出	△1,032,475	△893,539
自己株式の取得による支出	△1,042	△2,884
配当金の支払額	△403,417	△268,933
少数株主への配当金の支払額	△25,544	△89,452
その他	△22,204	△15,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,360	805,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,902	255,929
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	365,085	2,091,024
現金及び現金同等物の期首残高	2,821,659	2,959,755
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	475,809	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,662,555	5,050,779

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅱ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,712,322	2,751,576	7,035,009	34,498,908	―	34,498,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,411,135	―	287,244	1,698,379	△1,698,379	―
計	26,123,458	2,751,576	7,322,254	36,197,288	△1,698,379	34,498,908
セグメント利益又は損失(△)	2,537,499	△57,399	1,439,308	3,919,408	8,156	3,927,565

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)１	四半期連結損益計算書計上額
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,473,381	4,733,911	9,284,850	36,492,143	―	36,492,143
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,192,756	―	253,662	1,446,419	△1,446,419	―
計	23,666,138	4,733,911	9,538,513	37,938,562	△1,446,419	36,492,143
セグメント利益又は損失(△)	2,287,761	△198,691	1,521,736	3,610,806	64,977	3,675,783

(注)１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成２５年１１月７日
鬼怒川ゴム工業株式会社
コード番号　５１９６

参 考 資 料

平成２６年３月期　第２四半期　決算概要

［連結決算］

１．業績

（単位：百万円）

区分	当第2四半期累計期間実績 (H25/4～H25/9)		前第2四半期累計期間実績 (H24/4～H24/9)		増減	
売 上 高	36,492	100%	34,498	100%	1,994	5.8%
営業利益	3,675	10.1%	3,927	11.4%	△252	△6.4%
経常利益	4,041	11.1%	3,943	11.4%	98	2.5%
四半期純利益	2,284	6.3%	2,226	6.5%	58	2.6%
１株当たり四半期純利益	33.98 円		33.12 円		0.86円	

２．貸借対照表

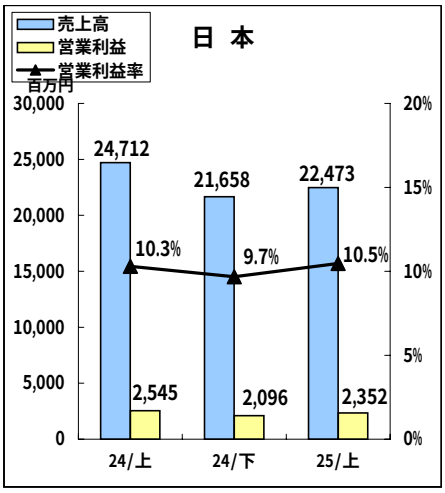
（単位：百万円）

資 産 の 部				負債・純資産の部			
科目	第2四半期	前期	増減	科目	第2四半期	前期	増減
流動資産	30,353	24,258	6,095	流動負債	20,179	16,553	3,626
現・預金	5,051	2,959	2,092	買入債務	8,702	6,321	2,381
売掛債権	16,662	14,046	2,616	借入金	6,125	6,089	36
棚卸資産	5,386	4,810	576	その他	5,352	4,143	1,209
その他	3,254	2,443	811	固定負債	7,647	6,187	1,460
				借入金	2,327	822	1,505
				退職給付引当金	2,645	2,668	△23
				その他	2,675	2,697	△22
				（負債計）	27,826	22,740	5,086
固定資産	27,362	24,815	2,547	株主資本	25,602	23,589	2,013
有形固定資産	22,639	21,161	1,478	資本金	5,654	5,654	-
無形固定資産	485	484	1	資本剰余金	850	850	-
投資その他	4,238	3,170	1,068	利益剰余金	19,128	17,113	2,015
				自己株式	△30	△28	△2
				評価・換算差額等	3,364	1,931	1,433
				新株予約権	42	28	14
				少数株主持分	881	785	96
				（純資産計）	29,889	26,333	3,556
合計	57,715	49,073	8,642	合計	57,715	49,073	8,642

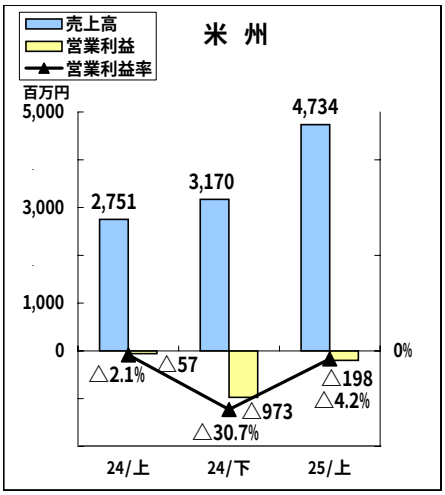
注）主なＢ／Ｓ指標

自 己 資 本 比 率	50.2%	52.0%	△1.8%
総 資 本 回 転 率	1.3回	1.3回	△0.0回
総資本経常利益率	15.1%	14.7%	-
Ｄ Ｅ Ｒ	0.3倍	0.3倍	0.0倍

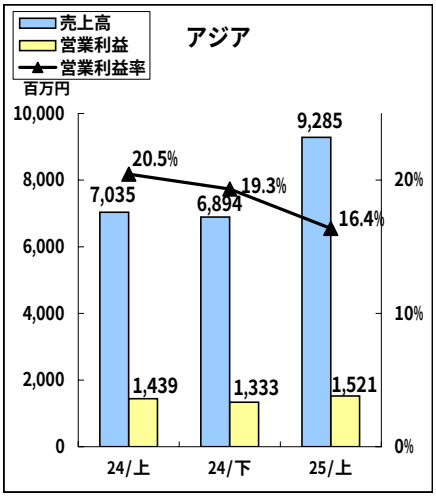
３．地域別セグメント情報



操業度の低下による影響を合理化で補えず、減収減益となった。

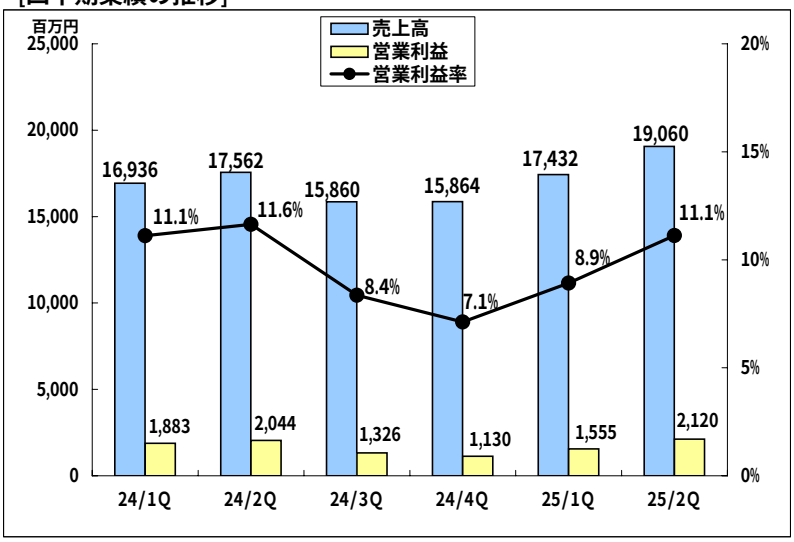


拠点の自主自立による改善活動の推進により、前期から大幅に改善効果が出ているものの、新車立上げに伴う費用を吸収するまでには至らず損失となった。



タイ拠点での新車立上げに伴う費用増をモノ造り改善活動等による合理化活動で補い、増収増益となった。

［四半期業績の推移］



［当第２四半期の主な活動内容］

１．短期収益の確保
・モノ造りの継続した改革
　生産リードタイム短縮、ローコストオートメーション、省スペース化、材料歩留向上等の実現のため、グループ各社から経験豊富な人材を選抜し、クロスファンクショナルチームを結成、日本ベンチマークの生産方式を海外拠点に展開
・原材料調達の現地化等、グローバルでの最適調達の推進
２．売上の更なる拡大
・主要カーメーカーに対するグローバル拡販活動の実施
　メキシコ、中国、タイで車体シール部品に加えて防振部品、ホース部品の生産準備を行い、日産を始めとするグローバルカーメーカーの売上拡大を目指す
３．仕事の質の改善
・鬼怒川グループのモノ造りレベルアップの3つの重点活動を推進
　①拠点・設備の立上げ
　②新車の立上げ
　③拠点運営
・標準マニュアルによる継続反復した教育を実施